

教科書編集部便り

新しい学習指導要領の告示

四月、新年度を迎え、中学校は、新たに入学してきた一年生や、それぞれに進級した二年生、三年生の生徒たちのあふれるばかりの希望の中で、活気に満ちていることと思います。

教育現場の大きな動きとしては、十年ぶりの学習指導要領改訂、告示ということがありました。編集部では、新版に向けて、学習指導要領の中に新たに設定された指導事項や、学年が移動になった指導事項などについて、整理し、確認する作業を進めているところです。

各中学校では、移行期間の準備に入るといってもあり、新しい学習指導要領の内容を意識しつつ、年間指導計画などの作成がなされていくことと思います。ただ、今回の改訂は、これまで指導されてきたことが全く変わってしまうことではないようです。内容の詳細は本文に譲りますが、公開資料等では、新しい学習指導要領は、現行学習指導要領の「生きる力」を「はぐくむ」という基本理念を引き継いでいる、とあります。このことは、新版編集においても基盤をなす考え方となります。生徒が自ら課題を見つけ、学び、考え、問題を解決していける力をつけられるような教科書の実現を旨とし、構成や内容をさらに検討し編集を進めていきたいと考えております。

日常への橋渡しができる教科書

先日、ある研究会に行ってきました。グループになってパンフレットを編集し、紹介するという授業です。下書きの段階でいったん発表し、わたしたち参観者が各グループを回って直接助言したり質問したりする時間がありました。わいわいときぎやかな状態で授業は終わ

広報部便り

今号の特集は、「新しい学習指導要領」が告示されたことを受け、高木まさき先生、藤森裕治先生、甲斐雄一郎先生に、「新しい学習指導要領」を読み解いていただき、改訂のポイントを挙げていただきました。和やかな雰囲気の中での鼎談となりましたが、「国語科としての言語活動とは何なのか」といった話題になると自然に力も入り、国語科教育への切実な思い、現場への思いや願いが溢れる話し合いとなりました。古典への取り組みについて話が及ぶと、誌面には紹介しきれないほどたくさんのアイデアが出されました。これらのアイデアを割愛するのは惜しまれましたが、限られた誌面の関係上、今回ご紹介しているのはほんの一例だということを申し添えたいと思います。今号の特集についてお気づきのことなどがございましたら、ぜひご意見をお寄せいただきたいと思います。

なお、光村図書ホームページ「光村チャンネル」では、「学習指導要領」関連情報「コーナー」を開設しています。「新しい学習指導要領」に関する情報をはじめ、PISA情報、「全国学力・学習状況調査」の結果に関する情報、文化審議会答申など、今回の改訂の背景となった周辺情報も取り揃えています。また、「新しい学習指導要領」の解説も掲載していますので、ぜひご覧ください。

また、「光村チャンネル」では、先生方の毎日のご指導にお役立ていただける情報・資料を多数掲載しています。年度始めのこの時期に、ぜひ一度ご覧ください。

り、そのあとの協議会で、数人の生徒たちが授業の感想を発表しました。「僕たちのグループは○○という指摘を受けました。確かにそう

したほうが僕たちの強調したいことが伝わるなと思ったので、早速書き直そうと思います。」「アドバイスを伺って、表紙のレイアウトを○○なふうに工夫してみることができました。」一見、にぎやかなだけに見えたグループ学習でしたが、わたしたちの声は確かに生徒たちに届いていて、彼らなりに考えて改善しようとしていたのです。

今回の場合、編集というノウハウを知ることもちろん大切ですが、しかし、その知識を活用したり、さらには交流を通してもう一度試行錯誤したりしてよりよい形を旨とします。このような活用する力や考え続けるあきらめない姿勢、協力して作り上げる経験の積み重ねこそが、今必要なことなのではないかと改めて感じた一日でした。

新しい学習指導要領の文言から見えてくることの一つは、日常に生きて働く力を身につけるといふ方向性です。国語科で学んだことが、授業の中だけに閉じず、生徒の普段の言語生活や将来の社会生活の中で確かに生きて働き、どんな困難にぶつかっても柔軟に思考し、言葉で人や社会とつながっていく喜びを実感できる。新しい教科書は、その橋渡しができる本でありたいと願っています。

教科書訂正のお知らせ

(三年)

頁	原文	訂正文
153	工場	工場
上	見学する。	見学する。
6	行程を	工程を

光村チャンネル
http://www.mitsumura-tosho.co.jp/



教科の部屋「中学校国語」
教科書教材に関連する情報・資料のほか、言葉に関するQ&A、教材出典一覧なども掲載しています。

情報BOX「大人のためのリンク集」
教科書教材に関連したリンク先をご紹介します。教材研究や授業のヒントにお役立てください。

光村コミュニティ「わたしの授業」
全国の先生方のアイデア豊かな実践を、数多くご紹介しています。

ご意見・ご感想、取り上げてほしいテーマなどありましたら、ぜひ広報部までお寄せください。お待ちしております！

FAx 〇三(三三九九)五四八三
E-mail: koho@mitsumura-tosho.co.jp